間諜Ｘ２７（1931）

DISHONORED

メディア 映画
ジャンル ドラマ　ロマンス
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 91分
初公開日 1931/08
公開情報 劇場公開
リバイバル 2000/03［オンリー・ハーツ］

【解説】

映画は第一次大戦さ中のウィーンに始まる。土砂降りの雨の中、今日も裏街の娼窟で女が自殺した。救急車が来て亡骸を運んでゆくのをみつめるディートリッヒに名はない（彼女はさり気なくストッキングをずり上げ、その脚線美を見せつける）。“今にお前もああなるぞ”と声をかける刑事。“私は生きることを恐れないわ。死ぬことも”と返す彼女。そのやりとりを見ていた男が彼女の客となり、間諜を持ちかける。反オーストリアかの問いに男が頷くと、彼女はワインを買いに出るふりで警察を呼ぶ。が、男は諜報局長官。その愛国心を讃えられた彼女は殉職した軍人の妻であり、Ｘ－２７号のコードネームを与えられ、反逆者と目される大佐の身辺を洗う任務を負うが、その最中、ロシア軍大佐（Ｖ・マクラグレン）と仮面舞踏会で謎めいた出会いをし、ポーランドの前線で宿命の再会を果たす。宿屋の女中に化けた（ディートリッヒ、ほぼノー・メイクですっかり別人）Ｘ－２７号は、同行させた愛猫から彼女とバレてしまい、楽譜にした伝言文は大佐が弾いてみればまったく曲になっておらず、暗号と発覚する。だが、彼はワインに眠り薬を盛られ昏倒。囚われの身となるが、直接訊問に来た彼女に逃がされる……。愛のために反逆の罪に問われたＸ－２７号は、女らしい服装とピアノを弾くことだけ要求し、毅然として処刑場の露と消えていくのだった（彼女に憧れる若い将校が目隠ししようとするのを断って、その布で彼の瞳に溢れる涙を拭ってやる際のマレーネの婀娜っぽさ！）。フォン・スタンバーグは本気で、この世紀の恋人を讃えるためだけに映画というメディアを使い切っている。ドラマチックな二重露光の使用は、彼女にまつわる彼の思いを痛切に表現しているようにも見え、感動的だ。

【クレジット】

監督	ジョセフ・フォン・スタンバーグ	Josef von Sternberg	
脚本	ダニエル・Ｎ・ルービン	Daniel N. Rubin	
	ジョセフ・フォン・スタンバーグ	Josef von Sternberg	
撮影	リー・ガームス	Lee Garmes	
出演	マレーネ・ディートリッヒ	Marlene Dietrich	マリー
	ヴィクター・マクラグレン	Victor McLaglen	クラノウ大佐
	グスタフ・フォン・セイファーティッツ	Gustav Von Seyffertittz	オーストリア諜報部長官
	ワーナー・オーランド	Warner Oland	フォン・ヒンダウ大佐
	ルー・コディ	Lew Cody	コフリン大佐
	バリー・ノートン	Barry Norton	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.